

MOTUS QUARTET

モータス・クアルテット



グランプリ・コンサート2026
第12回大阪国際室内楽コンクール 第1部門(弦楽四重奏)

第1位

エリン・カーター・ピッツ (ヴァイオラ)
Erin Carter Pits (Viola)

ドモンコス・ハートマン (チェロ)
Domonkos Hartmann (Cello)

ティム・デ・フリース (ヴァイオリン)
Tim de Vries (Violin)

カルラ・クリシュ (ヴァイオリン)
Karla Kriz (Violin)

継承されるウィーンの伝統
研ぎ澄まされたアンサンブル

PROGRAM

W.A. モーツァルト: 弦楽四重奏曲第19番 ハ長調 K. 465 「不協和音」

A. ウェーベルン: 弦楽四重奏のための緩徐楽章

J. ブラームス: 弦楽四重奏曲第2番 イ短調 op. 51-2

第12回コンクールでの、
熱演をビデオで振り返る!



1次
ラウンド



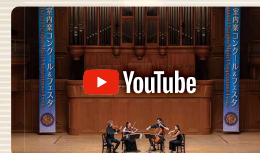
ウェーベルン: 弦楽四重奏のための5つの楽章 op. 5
ハイdn: 弦楽四重奏曲 op. 74-3



3次
ラウンド



酒井健治: 弦楽四重奏曲 第2番「フローティング・パーティクル」
シューベルト: 弦楽四重奏曲 第14番 D. 810 「死と乙女」



ファイナル
ラウンド



ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第12番 op. 127

2026.

11/15



14:00開演
(13:30開場)

くにさき総合文化センター アストホール
大分県国東市国東町鶴川160-2

料金

無料

9月18日より
入場整理券配布

お問合せ
お申込み

国東市教育委員会 社会教育課

☎0978-72-2121

平日

AM9:00~PM5:00

入場整理券
配布場所

涛音寮、道の駅くにみ、藤原酒店、福田書店、国広書店、(一社)国東市観光協会、たかはし薬局
とくべ、ふるさと市場R213、デイリーストア安岐たかはし、吉松楽器店、みんなかん、
くにさき総合文化センター、武蔵中央公民館、安岐中央公民館

主催: 国東市、国東市教育委員会

モータス・クアルテット 弦楽四重奏

MOTUS QUARTEI string quartet



ドモンコス・ハートマン(チェロ)
Domonkos Hartmann (Cello)

カルラ・クリシュ(ヴァイオリン)
Karla Kriz (Violin)

エリン・カーター・ピッツ(ヴィオラ)
Erin Carter Pitts (Viola)

ティム・デ・フリース(ヴァイオリン)
Tim de Vries (Violin)

ウィーンを拠点とするモータス・クアルテットは、2022年にウィーンで学ぶ4人で結成され、ウィーン国立音楽大学 (mdw) でヨハネス・マイスルに師事している。更にこれまでに、ハット・バイエルレ、ヴァレンティン・エルベン、エッカルト・ルンゲ、オリヴァー・ヴィレ、グレゴール・ジークル、エルサレム・クアルテットのメンバーの指導を受けた。

とりわけ重要な機会として、ジェルジュ・クルターグと継続的に時を共にしており、彼の「弦楽四重奏のための12のマイクロリード op. 13」などの作品や、バルトーク、シューベルトなどの楽曲を学んだ。

2026年5月には、今日の主要なコンクールの一つである第12回大阪国際室内楽コンクールで第1位と4つの特別賞を受賞した。それまでも、2025年3月にワイマールの第10回ヨーゼフ・ヨアヒム

国際室内楽コンクールで第1位と古典作品解釈賞、同年9月にトロンハイム国際室内楽コンクールで第3位と委嘱新曲賞、審査委員特別賞を受賞している。

現在はヨーロッパ室内楽アカデミー (ECMA) のメンバーであり、これまでにウィーンのコンツェルトハウス、楽友協会、アムステルダムのコンセルトヘボウ、東京のサントリーホール、ロンドンのウイグモアホールでデビューを飾っている。2026年後半には、サントリーホールを含む日本ツアー、ニューヨーク、ワシントンDC、オタワでの北米ツアーや、ホルン室内楽シリーズへの出演も予定されている。今夏にはデュッセルドルフのシューマンフェスト、ジュリアン・ラクリンが監督を務めるアイゼンシュタットのヘルプスブルト・フェスティバルに参加する。



メッセージ

私たちの最大の特徴はアンサンブルの一体感と個々の音楽のバランスにあり、常に音楽の中でそれぞれのキャラクターの限界を押し広げながら、作曲家の言葉と意図を深く追求しています。この探求によって、音楽のビジョンを共有しながらも、各声部は独自で欠かすことの出来ない存在を保っています。まるで一心同体のように滑らかに調和する音を目指しながらも、各奏者の個性も大切にしているのです。4人が全ての音楽の創造と共有に同等に集中出来た時、弦楽四重奏はとてつもない魅力を発します。

今回は多くのウィーンの作曲家の作品を演奏できることをとても嬉しく思っています。私たち自身がウィーンからの来日なので、レパートリーに深い結びつきを感じていて、ウィーンのクラシック音楽の豊かな伝統と精神を日本の聴衆と分かち合いたいです。また、コンクールの酒井健治氏への委嘱新作「フローティング・パーティクル」は、新しい芸術的視点を開いてくれた作品です。日本の主要なホールでこの作品を披露し、酒井氏との継続的なコラボレーションを楽しみにしています。この伝統と現代の融合が、有意義な音楽的対話を生み出して、皆様にとって特別な体験になることを願っています。

グランプリ・コンサート2026 全国スケジュール

11/14	熊本	益城町文化会館
15	大分	くにさき総合文化センター アストホール
17	広島	みどりしんきんホール(庄原市民会館)
18	鳥取	米子市公会堂
20	大阪	住友生命いずみホール
21	三重	三重県文化会館
22	名古屋	宗次ホール
25	横浜	横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール
27	海老名	海老名市文化会館
28	東京	サントリーホール ブルーローズ

第12回大阪国際室内楽コンクール 記念CD販売

コンクール第1部門 弦楽四重奏

クアルテット湊 (第3位)
酒井健治: 弦楽四重奏曲第2番
「フローティング・パーティクル」

カルテット風雅 (第2位)
A. ベルク: 弦楽四重奏曲 op. 3

モータス・クアルテット (第1位)
L.v. ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第12番 変ホ長調 op. 127



公演会場で、1,500円で販売します。

※第2部門 (ピアノ三重奏/四重奏) とフェスタ入賞団体のCDも販売予定です。